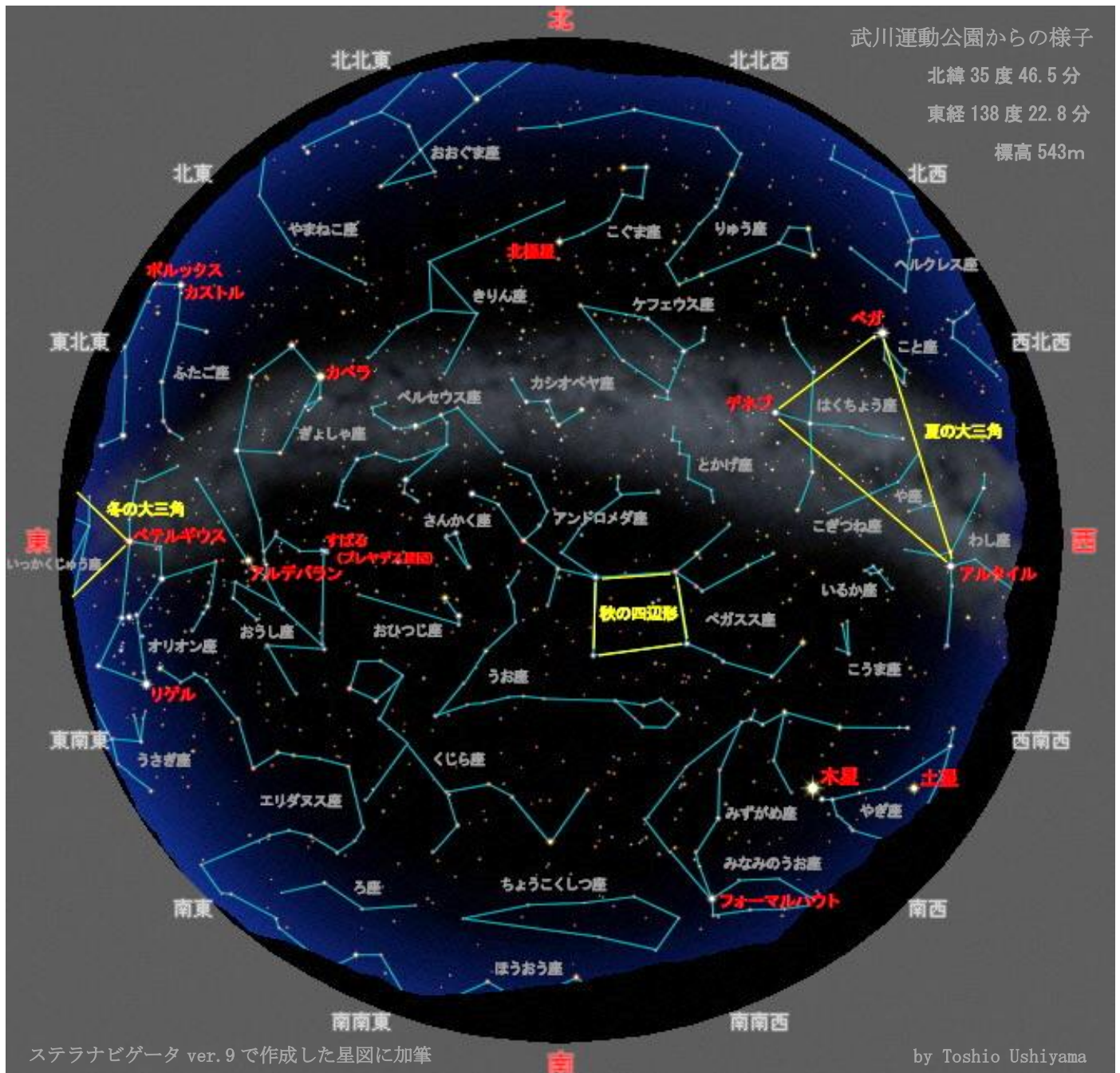


2021年12月4日午後7時30分の星空案内



当日の日没は午後4時37分。午後5時を回ると南西の鳳凰三山の上空にひとときわ輝く一番星が姿を現わします。宵の明星「金星」です。続いて輝き出すのが太陽系最大の惑星「木星」。金星の左上に注目するとすぐに見つかります。午後5時半が近づくと、金星と木星の間に「土星」が姿を見せることでしょう。西天高くすでに「夏の三大角」も輝いています。午後6時を過ぎると金星は早くも稜線に沈み、辺りは完全に暗くなります。夜空はいつの間にか満天の星で彩られ、天頂にはペガサス座とアンドロメダ座の星々で形作られる「秋の四辺形」の姿があります。午後7時半になると、木星・土星や夏の三大角は西の山稜に向けて高度を落とし始め、北天高く「秋の天の川」がかかります。その淡い光芒の中で輝く「カシオペヤ座」はWの形をした姿が実に印象的。当日は新月であることから、月明かりの影響を全く受けずに心ゆくまで天の川を楽しむことができるでしょう。東天にはすでに「オリオン座」をはじめとする冬の星座たちが姿を見せています。12月4日の午後7時半、お住まいの場所から同じ星空をみんなで見上げましょう！ 自然写真家 牛山俊男